

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために 手を取り合おう

RI 会長テーマ

2025～2026 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 菅野 嘉洋

副会長 三田地大悟

幹 事 松田 福美



= 会長指針 =

そして社会も磨きましよう

・ ・ ・ 例 会 記 録 ・ ・ ・

10月第2週例会 2025年10月 9日(木)

ソング : 我等の生業 ボックス : 16,000円 (報告者 志田宏美 会員)

お客様紹介 : 陸前高田しみんエネルギー 代表取締役 大林孝典 様

本日出席率 : 54.84% 前回修正後 77.42% (メンバー7名) (報告者 佐藤忠久 会員)

★ 会長の時間 : 菅野 嘉洋 会長



今日は「米山記念奨学事業の研修会に参加し少し感動してきました」というお話をしたいと思います。

9/27 に仙台で行われた米山記念奨学会地区研修会に参加してきました。

米山記念奨学事業については既にご存じの皆様も多いと思いますが、あらためてざっくりと説明いたしますと、日本で学ぶ外交人留学生に奨学金を支給し支援する事業です。

海外で学ぼうとする日本人のための、ということではなく日本で学ぼうとする外国人のための、というのが大きなポイントです。

米山記念奨学事業の理念としては「豆辞典」によると、日本と世界との平和の架け橋になる人材を育てること、そして国際理解と親善に寄与すること、というようなことが記されております。

正直私は今まであまりピンと来ておりませんでした。日本とあまり関係の良くない国の留学生を支援するのもなんだか釈然としないなあ、恥ずかしながらその程度の印象でした。

ただその印象は今回の研修会に行ってみたことで少し変わりました。

研修会の中で米山奨学生のスピーチの時間がありました。ドイツから留学している男性と中国から留学している女性2名のスピーチでした。

どちらもたどたどしい日本語でのスピーチでしたが、そこにあったのはただただ純粋な米山記念奨学事業への感謝と学べることへの喜びでした。いいおじさんになったからでしょうか、その純粋さというか素朴さになんだか少し感動してしまいました。

そこで思ったのは、外国人留学生を受け入れること、その受け入れることこそが米山記念奨学事業の肝というか神髄なのではないだろうか、ということです。

受け入れることにより、外国人留学生にロータリーの日本の良さを理解してもらうことができます。私たちはその留学生とその国について理解しようとする機会を得ます。もしその留学生を心から応援できるような絆を育むことができるようであれば、きっと私たちにとっても成長できる機会になるのではないかと、なんていうことを思いました。純粋な感謝の気持ちを表されて、心を打たれない会員はいないと思います。

また先ほど国と国との関係があまりよくない地域の留学生に支援するのは釈然としないという話をしましたが、だからこそではないかと思えます。だからこそ米山の制度は意義があるのではと。国同士の関係でいろいろあったとしても、米山で育まれた関係は消えることなく残るでしょう。国同士の関係が悪化したときにこそ、民間のレベルで理解、信用できる相手がいれば印象は半分違ってきます。そのような関係

を築くことができることが、米山の制度の大きな意義を持つ部分ではないでしょうか。
留学生にもいろんなタイプの人間がいると思うので、一概に感動できる話が聞けるわけではないと思いますが、米山奨学生のお話をどこかの機会の皆様と聞くことができたと思います。
今月はロータリーの米山月間でもあります。先日「豆辞典」も配布されました。この機会にでも米山記念奨学事業とちょっと向きあってみてもいいのではないのでしょうか。

ご清聴ありがとうございました。



幹事報告



無 し



委員会報告



★ 三田地大悟会員 : 野球部より



10月16日23日いずれも木曜日の18時～19時に野球の練習を行いますので多くの方のご参加をお願いします。
FAXでもご案内します。



本日のプログラム



フリーアワー

★ 陸前高田しみんエネルギー(株)

代表取締役 大林孝典様 講話



茨城出身 2003年大学のサークル活動で陸前高田に歌を歌いに来たのがきっかけで「第二の故郷に」

スライドを見ながらご講話頂きました。



大学卒業後 JICA 入構を経て

2015年陸前高田市職員として移住

2018年陸前高田しみんエネルギー(株)

立ち上げに市職員として携わる

2021年市役所を卒業

プレーヤーとして地域活性化に携わる

①陸前高田しみんエネルギー(株)について ～設立経緯～

【設立経緯】陸前高田市では、東日本大震災の経験から、再生可能エネルギーの活用による災害時の電力確保や、エネルギーの地産地消による地域内経済循環について検討を行ってきました。全国で地域電力の設立・支援を行っているワタミエナジー㈱の協力により、2019年6月に市の出資も得て会社設立に至りました。

●社名	陸前高田しみんエネルギー株式会社
●所在地	岩手県陸前高田市横田町志田実3-1
●創立	2019年6月19日
●株主	㈱クールトラスト 3.5% ㈱長谷川建設 3.5% 陸前高田市 1.0% ワタミオーガニックランド㈱ 5% 小出浩平 5% 大林孝典 5% 有限会社小林電設 2.5% 村上製材所 2.5%
●代表取締役	大林 孝典
●契約電力(2025年7月現在)	7,093kW
●事業内容	・電力小売事業 ・再生可能エネルギー導入促進事業 ・地域活性化に資する事業

利益の一部を地元還元

陸前高田しみんエネルギー株式会社
設立総会

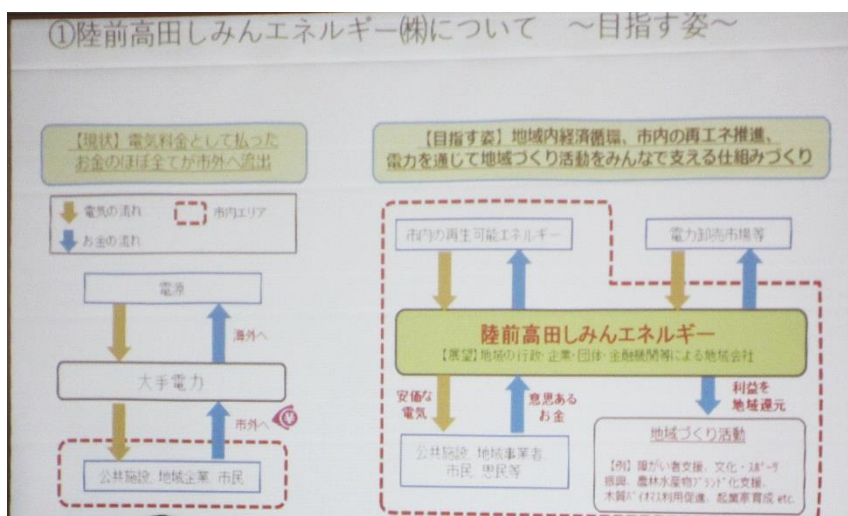
陸前高田しみんエネルギー株式会社は、再生可能エネルギーの活用による災害時の電力確保や、エネルギーの地産地消による地域内経済循環について検討を行ってきました。全国で地域電力の設立・支援を行っているワタミエナジー㈱の協力により、2019年6月に市の出資も得て会社設立に至りました。

地域電力会社を設立

陸前高田の公共施設の経費削減

市民らに電力供給

市役所が半分出資
 長谷川建設様等からの出資により
 2019年6月設立
 市役所のすべての電気と60社
 ほどに電気を供給



市全体で年間20億円もの電気代が市外へ流出
 これを市内の再生可能エネルギー等を活用しながら流出を減らす



エネルギーの地産地消を図る為
 計画
 小水力発電3ヶ所
 資源循環型バイオガス発電